

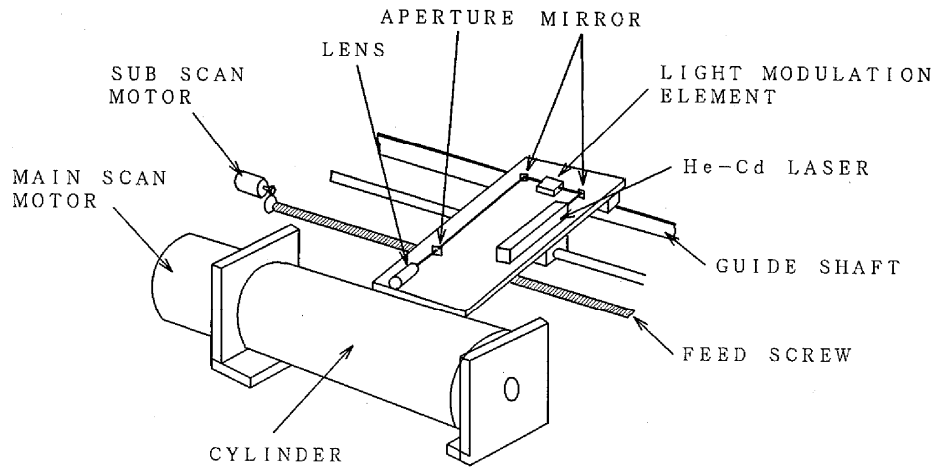
レーザ製版システム

レーザ光板の生産システムは、主に新聞社や印刷会社で印刷処理の合理化のため、環境保護のために開発されました。システムは、コピーを読み取り印刷版を回転ドラム方式かフラット走査システム(図1-1参照)上に書き込む2つの方法があります。

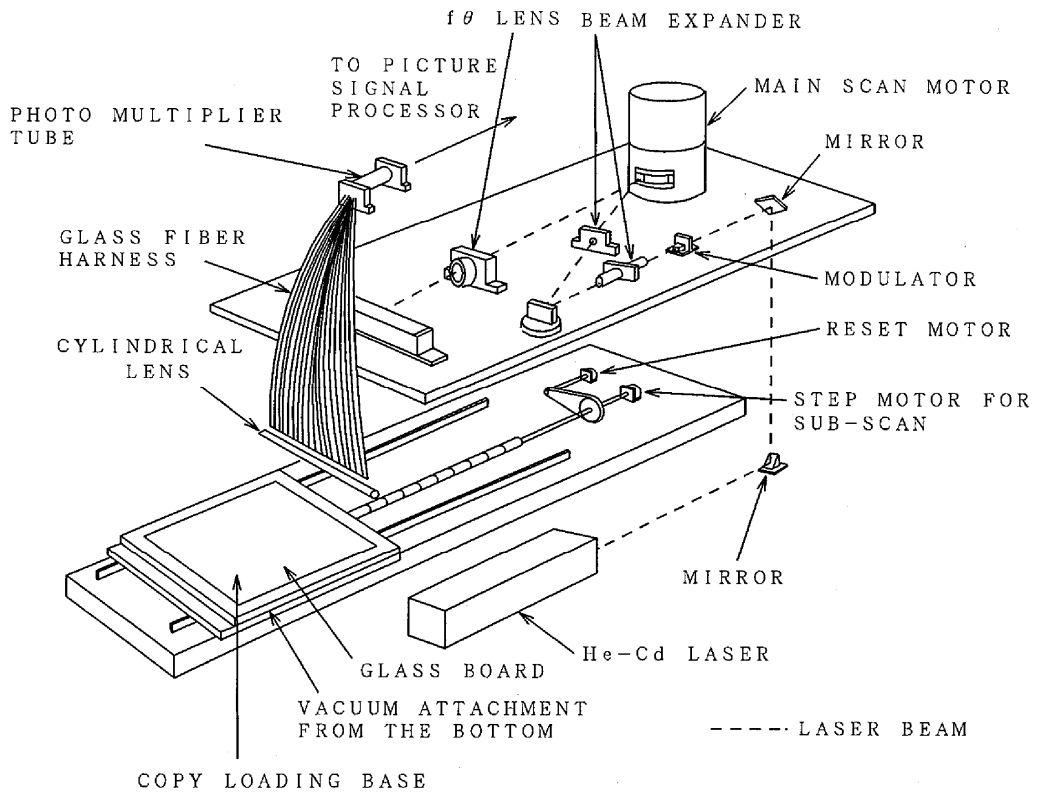
フラットな走査システムは、構造がより複雑でより高価ですが、より高速で印刷することができ、30秒で新聞の1ページをスキャンすることができます。16.6 ライン /ミリの速度で、または60秒である。31.5 ライン /ミリの割合になります。

図1-2は、レーザ光板製造装置の組み合わせ例を示しています。

- (1) 図1-2の "A" は、一般に平坦な走査システムを使用して1つのページ紙サイズのプレートを製造するために使用されます。
- (2) 図1-2の "B" は、新聞ファクシミリのために使用されます。送信側では、アートワークが読み取られ、電気信号に変換され、電話回線を介して伝送されます。従来のネガフィルム処理が排除されるように、受信側では、情報が直接プレート上に書き込むことができます。この方法では、回転ドラムシステムは、送信側と受信側の両方で使用されています。
- (3) 図1-2の "C" は情報がコンピュータから出力され、全ページフォトタイプ設定の製造に使用される工程のために使用されます。

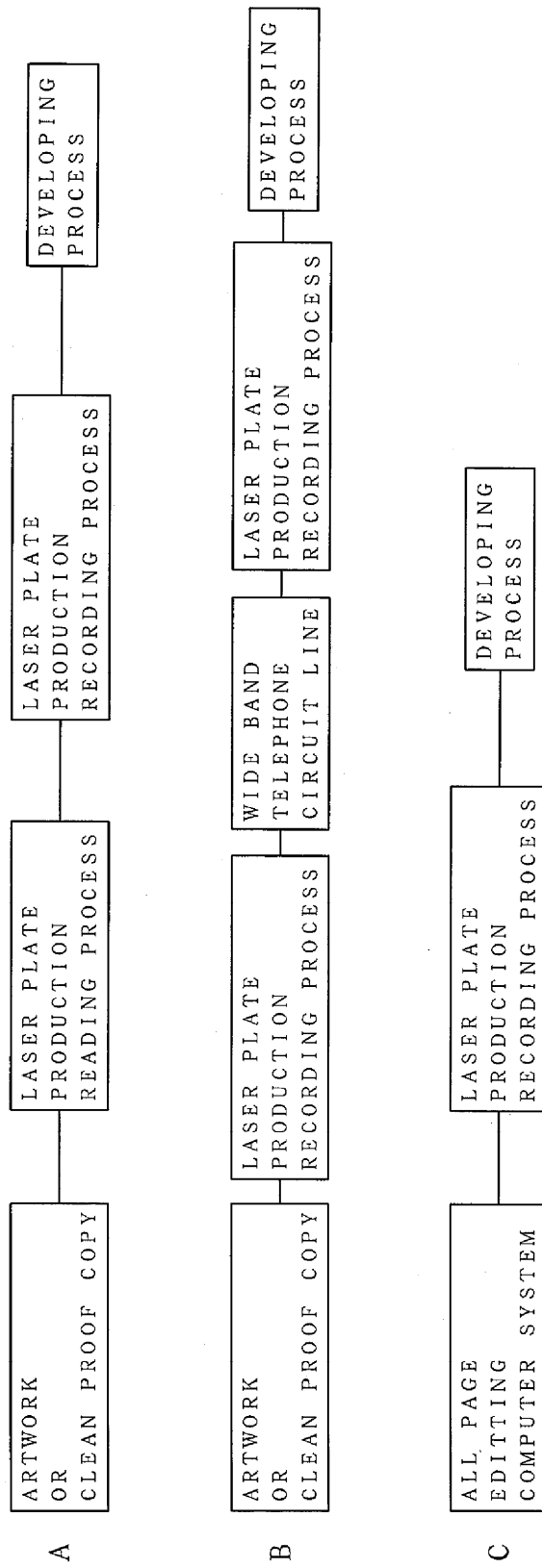


(a) 回転ドラム方式



(b) 平面スキャニングシステム

図・1-1 レーザ製版システムの概要例



図・1-2 レーザ製版システム 各方式の概要